

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	L120608	クラス名	吉村研究室
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、履修条件	本科目の実施日程等は、選択した研究室により異なりますので、担当教員の指導を受けて下さい。選択した研究室の担当教員の指導を受けて下さい。		
教科書	(なし)		
参考文献及び指定図書	選択した研究室の担当教員の指導を受けて下さい。		
関連科目	全専門教育科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	卒業研究着手条件を満足した4年生は、研究室を決定した後、卒業研究に着手します。本科目では、各研究室の卒業研究生となった学生各人が、大学専門教育の総仕上げとして専門分野における研究テーマに挑戦し、1年間かけて取り組んだ成果を卒業論文としてまとめ、提出します。研究テーマは、選択した各専門分野において、技術上の問題の解明、予測、対策及び新しい方法の提案・開発等です。卒業研究では、各自の研究テーマに対して問題点を発見する力、実験・調査・分析などの手法、論文のとりまとめ方、プレゼンテーション能力を身につけ、卒業後、社会人あるいは大学院生として活躍できるようになることを目標とします。
授業の概要	本科目の授業は、選択した研究室の担当教員の指導のもとで行われます。研究の内容は、実験、実習、調査、計画、計算及び設計と多岐にわたります。研究テーマは担当教員の指導により決定されます。また、研究の進め方は研究テーマの内容により個人研究またはグループ研究として行われます。卒業研究生は、与えられた研究テーマに関して、担当教員の指導のもとに研究の実施計画を立てて実行しては検討を繰り返し、1年間かけて目標とした研究成果の達成に努めます。最終的には研究成果を論文にまとめて担当教員に提出し、審査を受けます。審査は口頭発表及び試問等により行われます。 吉村研究室では、NPO法人さがのせき・彩彩カフェと連携した佐賀関のコミュニティ維持・佐賀関半島の資源を活用した観光振興による地域活性化活動を実践的に行っており、希望者には同法人と連携し、地域課題解決を題材にした卒業研究に取り組めます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「複数クラス方式」 (3) アクティブ・ラーニング PBL(プロジェクト型授業) 他
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 自分の専門分野をもち、問題意識と探究心を抱くことができる。		10点	
【知識・理解】	② 各専門分野における主な既往の研究について把握できる。		10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 研究成果を第三者に対し分かりやすく発表することができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	④ 研究の目的に即した調査方法と分析方法を自ら学び、実行することができる。 ⑤ 研究計画を立案し、それに即した研究を締め切りまでにまとめ上げることができる。		50点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<p>普段の取り組みによるレポートを評価します。 卒業研究論文により評価します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 ゼミでの発表、卒業研究発表会の口頭発表を評価します。 口頭発表の評価はその都度フィードバックします。</p>

○その他
<p>昨年度の「研究ゼミナール」に引き続き、佐賀関地区、国道442号宗方工区周辺もしくは豊後大野市大野町土師地区の活性化に関する研究及び実践活動を行います。佐賀関では高齢化及び少子化が急速に進み、中心部である「関あじ関さば通り」の活気が急速に失われています。国道442号宗方工区周辺は周辺団地の高齢が進んでいますが国道の整備事業が進んでおり道路整備を通じた街の再生が進んでいます。また、大野町土師地区は農林業が盛んな地域ですが、超高齢化しており、集落の維持が大変難しくなっています。本研究では、各種統計データや現地調査の分析を踏まえて地域の活性化を行うための具体的な提案を行います。また、地元のNPO、商店等と協力して、地域実践活動を行います。これらを通じてコミュニケーション力や主体性、課題解決力といった人間力を高めるとともに、卒業研究論文としてまとめます。卒業研究論文のテーマは、大分県内における交通問題、都市計画、地域づくりに関する課題などで実施することも可能です。 上記以外の研究としては、「次世代モビリティの県内での推進に関する研究」「県都大分市の交通円滑化に関する研究(BRT研究)」「豊予海峡ルート整備に関する研究」「東九州新幹線整備に関する研究」などが考えられます。 授業は通年で実施しますので、後期も前期と同様のスケジュールで進みます。</p> <p>毎月第4土曜日に佐賀関の中心部で開催する地域交流活動「楽・楽マルシェ」の運営、毎月第3火曜日夜に開催する「さがのせきローカルデザイン会議」でのまちの活性化策の議論にも参加します。 その他、必要に応じて地域課題解決につながる地域の各種活動に参画します。 地域での実践活動は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない現状では、自粛、中止等の可能性が高いため、その都度連絡します。</p>

